



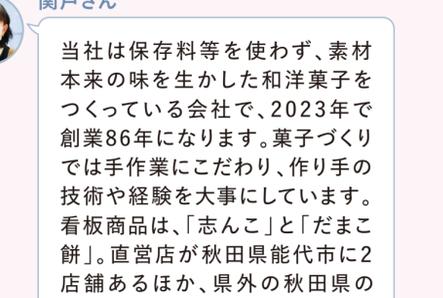
仕事もプライベートも充実した秋田ライフを送りたい。学園のメンバーが人生の『パイセン』に、仕事のこと、プライベートのこと、何でも聞いてみました!



株式会社セキト

今回サキホコレ学園1チームがインタビューするのは、昭和12年創業の老舗和洋菓子店、株式会社セキトで働くみなさん。取締役販売促進室長の関戸さん、総務部の播磨さん、営業部の大山さんが会社で取材に応じてくれました。仕事のこと、プライベートのこと、いろいろ聞いてみたいと思います!

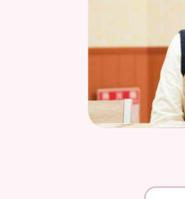
今回のパイセン



播磨さん & 大山さん

1チーム

本日はよろしくお願ひします。



セキトのみなさん

よろしくお願ひします。



1チーム

はじめに、会社の概要を簡単に教えてください。



関戸さん

当社は保存料等を使わず、素材本来の味を生かした和洋菓子をつくっている会社で、2023年で創業86年になります。菓子づくりでは手作業にこだわり、作り手の技術や経験を大事にしています。看板商品は、「志んこ」と「だまこ餅」。直営店が秋田県能代市に2店舗あるほか、県外の秋田県のアンテナショップ等でも商品を販売しています。



1チーム

ここで播磨さんと大山さんは、どのような一日を過ごしていますか?



播磨さん

8:30に出社したあと社内清掃をしてから、自分の業務である売上計算や発注作業、納品確認等に取りかかります。繁忙期には他部署の業務応援に入ることもあります。17:00の退社時には朝と同じように掃除をします。

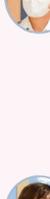
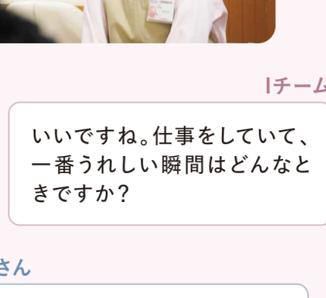


大山さん

勤務時間はその日のシフト等によって違いますが、朝夕の掃除は播磨さんと同じです。私は接客と製造の仕事を掛け持ちしていて、週に1、2日はお菓子づくりに励んでいます。製造の日は早朝に出社することもありますが、その分、早く退社しています。

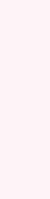
1チーム

お二人が、ここで働こうと思った理由は何ですか?



播磨さん

就職活動中に、地元では知らない人がいないセキトの募集枠を見つけ、人を笑顔にできるお菓子の仕事に携わりたいという思いから入社を希望しました。就職で地元の能代を離れたのは嫌だったので、採用が決まったときは本当にうれしかったです。

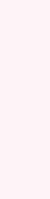


大山さん

私は製菓の専門学校を卒業後、約2年間、東京の菓子店で働いていたのですが、地元で働きたいという思いがずっとあって。幼い頃から家族で通っていたセキトの募集枠を見つけ、何が何でもという思いで入社を志望しました。

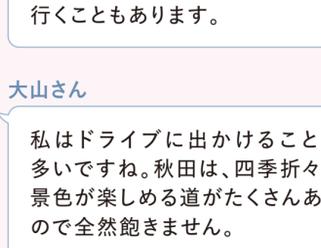
1チーム

お二人とも地元愛がすごいです。大山さん、東京でも菓子店で働いていたということですが、今との一番の違いは何でしょう。



大山さん

東京にもいろいろな菓子店があるので一概には言えないかもしれませんが、お目当ての商品を買い求めてサッと帰る方が向こうには多かった気がします。お客さま一人ひとりのコミュニケーション量は、セキトで働くようになってからの方が明らかに増えましたね。今の職場で毎日、いろいろな方とショーケースを挟んで心を通わせ合う感じが、私はとても好きです。



1チーム

いいですね。仕事をしていて、一番うれしい瞬間はどんなときですか?



播磨さん

お客さまや取引先の方、社員の要望にしっかり応えることができて、相手の方から感謝の声をもらったときですね。

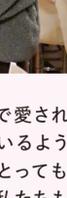


大山さん

お客さまに顔を覚えてもらったときが、一番うれしいです。

1チーム

今回、ここにお集まりのみなさんは全員女性ですが、職場の男女比はどのようになっていますか?



関戸さん

女性9割、男性1割となっています。

1チーム

女性の力が支える職場なんですね!変なことを聞きますが、そこまで女性が多いと、逆にやりにくいといったことはありませんか?



播磨さん

まったくないです。結構、社員の年齢に幅があるので、若い人は年上の先輩を親のように慕い、仕事に関係のないことまでいろいろ相談していますよ。



1チーム

ステキな環境ですね。播磨さんと大山さんのプライベートの過ごし方も教えてください。



播磨さん

私は専らスポーツ観戦に時間を使っています。スポーツの中でも野球が特に好きで、テレビ観戦だけでなく、球場に試合を見に行くこともあります。



大山さん

私はドライブに出かけることが多いですね。秋田は、四季折々の景色が楽しめる道がたくさんあるので全然飽きません。

1チーム

趣味も充実しているお二人がステキです。最後に、今後の目標を教えてください。



播磨さん

入社して5年になりますが、まだまだ分からないことが多いので勉強あるのみです。先輩に頼られる先輩になれるよう頑張ります。



大山さん

これからも接客と製造、どちらの道も極めていきたいです。

1チーム

本日はお忙しいところ、ありがとうございました!



郷土愛が強い播磨さん、大山さんにとって昔から地元で愛されている菓子店で働くことは、この上ない喜びになっていたようでした。取材後に買って帰った様々なお菓子、どれもとっても美味しかったです!公私ともに充実しているお二人に、私たちもいろいろ相談してみたくになりました!